

タネまきの季節

こころの ぽけっと

春です。タネまきの季節です。昨年の3月31日は、村の避難指示が解除に（長泥地区を除く）なった日でしたので、多くのご支援のお陰があったということで「感謝を力にして、種を蒔いていきます」という新聞広告を出させていただきました。

心の中にしまっていた種を
6年の間に握りしめていた種を
応援してくださった皆さんから手渡された種を
それらの大切な種を蒔きます

アサガオのタネを蒔くと、アサガオの花が咲きます。ヒマワリのタネを蒔くと、ヒマワリの花が咲きます。私たちは、大変な7年間を過ごしてきたのですから「幸せのタネ」を蒔いていかねばなりません。「幸せのタネ」は私たちの心や口や体で1年中蒔いていきます。「一生懸命、練習する」「掃除をして部屋を片付ける」「笑顔で接してみる」「約束を守る」などというのは、体のタネまきです。

「気持ちの良いあいさつをする」「ありがとうと、お礼の言葉を言う」「相手の長所を誉める」などは口のタネまきと言えます。

「思いやりの気持ちをもつ」「感謝の心を忘れない」「お互い様の気持ちをもつ」は心のタネまきになります。蒔かぬタネは絶対生えませんが、蒔いたタネは必ず生えてきて、花が咲きます。実も結ぶはずですよ。

皆で「幸せのタネ」を村中に蒔いていくことにしませんか。

平成30年4月13日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高野 里お 桜ちゃん	尚重・香純	飯樋町
齋藤 ぜん 祥くん	貴文・晴菜	深谷

すくすくと元気に育ってね



ひとのうごき

3月1日～31日までの人口動態	
人口 今月 (前月比)	転入 9人
男 2895人 (-24)	転出 50人
女 2912人 (-19)	出生 8人
備計 5807人 (-43)	死亡 10人
世帯数 1807戸 (+4)	(住民基本台帳人口)



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 茂雄	85	大久保・外内
高野 彌生	78	関沢
村松 甚吾	86	小宮
北山 初夫	80	飯樋町
大和田 弘	82	小宮
高橋 安子	85	二枚橋・須萱
井上 元志	71	関沢
高橋 富江	92	深谷
高橋 清	61	佐須
志賀 邦男	80	蔵平
成毛 克守	85	伊丹沢

(3月21日から4月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとかたるものがたり 第14回

會田 征男さん (伊丹沢)



20年かけ自宅周辺に植えた桜は3,000本。「村に再びにぎわいを」と平成25年から「復興さくらまつり」を開催しています。「飯館復興の桜を守る会」会長。

水田、和牛、養蚕、シイタケ、大根：いろいろなやつていたんだよ。過去には村議会の議員もやったし、震災の時はJAそうま(当時)の役員を務めていた。沿岸地域のJAの葬祭会館には、津波で亡くなった方の棺が並びきれないほど並んだんだ。家族や家がなくした人は、避難もままならない。ガソリン不足に苦労しながら、仕事に駆け回った。縁あって相馬市の借り上げ住宅に避難したのは5月の下旬。飼っていた牛をすべてセリ

に出し終わる頃には、秋になっていた。何とか営業を続けてきたAコープも閉店。一緒に頑張ってきた職員と抱き合って泣いた。こんな形で離ればなれになることが、悲しかった。JAには、平成25年まで、12年間世話になった。その頃よく家に集まっていたメンバーは、今も来てくれるんだ。この「復興さくらまつり」に。自宅の周りに桜を植え始めたのは、20年前。村に桜の名所をつくりたくて、自宅裏の山の上から植え始めた。

最初は「会田」の文字の形に植え、それから1000本を目指した。達成した後は2000本を目指した。22年にはその2000本を、すべて村に寄贈した。そして震災が起きた。村から人の姿が消えた。少しでも元の姿に戻したいと、平成25年の春、「飯館復興の桜を守る会」として「復興さくらまつり」を開いた。さまざまながら、出会いを縁に、多くの人を足を運んでくれた。平成26年からは植樹を再開。桜は昨年3000本になった。養蚕小屋をリフォームして、趣味のカラオケを楽しむ建物にした。ボランティアに来てくれるグループが、そこに泊まりたいと言っている。元気をもらおうよ。幸せなことだ。楽しみながら手伝ってくれる。今年は一緒に米をつくるんだ。戻る人がどれくらいかわからないが、それはそれだ。村にぎわう楽しい発想を、実現していきたい。できないと決めつけなければ、何でもできると思ってるんだよ。

おしえてくんちえ! 堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 明るく、イキイキ生活できるコツを教えてください!

堀先生

皆さんは、自分を支えてくれたり、伸び伸びとした気持ちにしてくれる人との関係や、趣味などの楽しみを、どれくらい持っておられるでしょうか。ちょっとした散歩や土いじりでも、しばらく家にこもっていた人が行くと、とても気分が晴れ晴れとすることがあります。気が付くと、自分の周りが、自分のことを責めて追い込んでくるように感じることや仕事ばかりになっていないでしょうか。「小さな楽しみ」をたくさん持っていると、人はずいぶんと強くなります。たとえば、前は楽しんでいたけれど震災後にやめてしまった趣味などを再開するのはいかがでしょうか?



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで